

平成 29 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 シ ー ボ ン
代 表 者 名 代 表 取 締 役 兼 執 行 役 員 社 長 金 子 靖 代
(コード番号：4926 東証第一部)
問 合 せ 先 取 締 役 兼 執 行 役 員 三 上 直 子
(TEL：044－979－1234)

通期業績予想と実績値との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

平成28年5月10日に公表いたしました平成29年3月期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、平成29年3月期決算において特別損失を計上いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成29年3月期業績予想と実績値の差異（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	13,469	458	503	264	61.88
実績値（B）	12,493	325	369	176	43.14
増減額（B－A）	△976	△132	△133	△88	
増減率（％）	△7.2	△29.0	△26.6	△33.3	
（ご参考）前期実績 （平成28年3月期）	12,833	235	284	104	25.83

2. 差異の理由

売上高につきましては、集客イベントを中心にブランド力強化を図ったことにより集客力が向上したものの、平成28年3月期の新規来店者数の減少が既存顧客の継続数へ影響したことにより、前回発表した業績予想を976百万円下回りました。

利益面につきましては、売上高の減少による売上原価の減少、要員計画差異による人件費の減少のほか、広告宣伝費、販売促進費等の全体的な費用の合理化を進めた結果、販売管理費及び一般管理費は626百万円計画を下回りましたが、売上高の減少が大きく影響し、営業利益、経常利益ともに前回発表した業績予想を下回りました。

当期純利益につきましては、減損損失102百万円を特別損失に計上したことにより、前回発表した業績予想を下回る結果となりました。

3. 特別損失の計上

最近の業績動向及び今後の計画を踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、保有する固定資産について投資期間全体を通じた投資額の回収可能性を評価した結果、平成29年3月期において、減損損失102百万円を特別損失に計上いたしました。内訳は以下の通りです。

- (1) 一部店舗の固定資産における減損損失 43百万円
- (2) 将来使用が見込めない電話加入権における減損損失 59百万円

以 上